

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

様 式 C-72-2 (記入例)

令和4(2022)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)
実績報告書(収支決算報告書)(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)
(ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI)」

令和〇〇年〇〇月〇〇日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

		機関番号	12345
所属 研究 機関	名称	〇〇大学	
	機関の長 職・氏名	学長・〇〇 〇〇	
実施代表者	部局	〇〇研究科	
	職	教授	
	氏名	□□ □□	

1. 課題番号 22HT〇〇〇〇

2. プログラム名 〇〇〇〇

3. 交付を受けた補助金 500,000 (円)

4. 費目別収支決算表 (円)

実支出額の 使用内訳	合 計	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	400,000	150,000	10,000	40,000	200,000
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合 計	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	500,000	50,000	50,000	50,000	350,000

様 式 C-72-2【作成上の注意】

収支決算について補助事業完了後に科研費電子申請システム（以下「電子申請システム」という。）にアクセスして作成し、補助事業実施期間中に所属していた研究機関を通して日本学術振興会に提出すること。電子申請システムにおける入力に当たっては、文字化けの発生や別の文字として認識される場合があるため、JIS 第1水準及び第2水準以外の文字コードや特殊フォントは使用しないこと。

【注意事項】

・電子申請システムにおける入力に当たっては、「電子申請システム研究者向け操作手引（科学研究費補助金）（ひらめき☆ときめきサイエンス）」

(<https://www.shinsei.jsps.go.jp/kaken/topkakenhi/download-ka.html>) を参照すること。

1. 実施代表者

- ・実施代表者の情報は、e-Rad の最新情報が自動表示されるので、情報に誤りがある場合は、所属研究機関の担当者に連絡して本様式作成時又は令和5年3月31日のいずれか早い時点の内容に修正すること。

なお、「部局」「職」欄について、自動表示されている名称が実際と異なる場合は、実際の名称に修正すること。（部局レベルの所属がない場合は名称欄に全角スペースを入力すること。）

2. 費目別収支決算表

- ・「交付を受けた補助金」は、交付決定通知書に記載の金額（本様式提出以前に変更している場合はその額）が自動表示される。
- ・「実支出額の使用内訳」には、使用した補助金の額を入力すること。
- ・各費目欄に該当する経費がない場合には、必ず「0」を入力すること。
- ・費目別内訳を入力後、〔再計算〕をクリックし、合計額を確認すること。